

## 1 町田市教育プラン 2019-2023 の教育目標と基本方針

第2期「町田市教育プラン」の取組と課題や教育を取り巻く環境変化を踏まえて、教育目標と4つの基本方針を以下のとおり定めます。

### 現教育プランの取組と課題、教育を取り巻く環境変化

将来の予測が困難で、変化の激しい社会の到来

学校施設の老朽化

学校を取り巻く課題の複雑化・多様化

人生100年時代の到来

将来の年少人口の急減

### 新たなプランの教育目標・基本方針

#### 教育目標

夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。  
生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。

町田市教育委員会は、人権尊重の理念を基盤とし、次代を担う子どもたちが、大きな変化が予測されるこれからの社会の中において、夢や志をもち、自ら学び、自ら考え、目標に向かってたくましく生きることのできる力を育むことを目指します。

また、子どもも大人も誰もが、生涯にわたり自ら学び、その成果を活かすことで、人と人とのつながりを生み出していく地域社会の構築を目指します。

#### 基本方針Ⅰ

学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

- ①新たな時代に必要な資質・能力を育みます。
- ②「生きる力」を町田ならではの取組により育みます。

#### 基本方針Ⅱ

充実した教育環境を整備する

- ①一人ひとりの能力・可能性を育てます。
- ②学校のマネジメント力を強化します。
- ③将来を見据えた学習環境の整備を進めます。

#### 基本方針Ⅲ

家庭・地域の教育力を高める

- ①地域による学校への「支援」から「連携・協働」へ活動を発展させます。
- ②保護者の学びや育ちを支援します。

#### 基本方針Ⅳ

生涯にわたる学習を支援する

- ①一人ひとりの学習段階に応じた支援を行います。
- ②学習を支える環境づくりを進めます。

# 町田市教育プラン 2019-2023 の体系図

## 教育目標

○夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。

○生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。

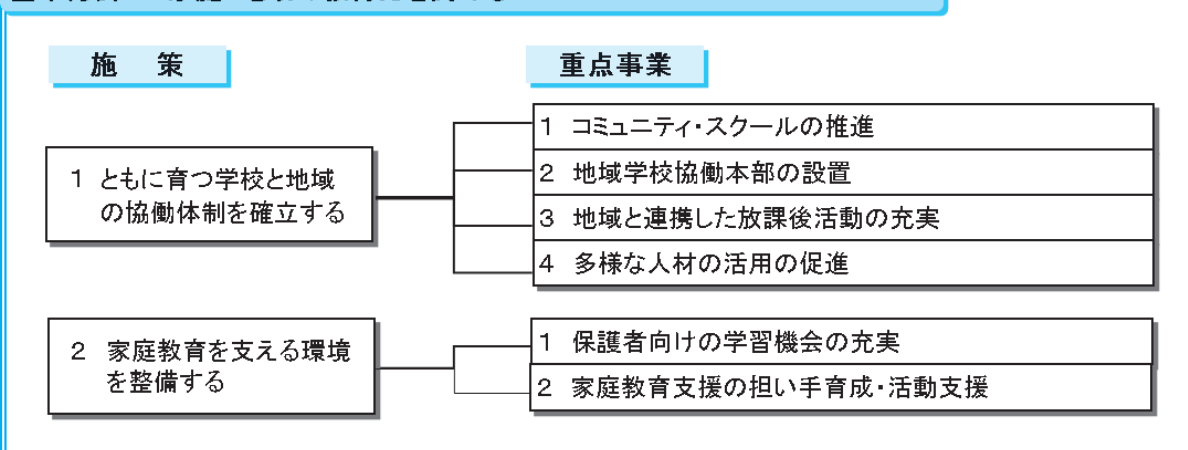
### 基本方針Ⅰ 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

施策	重点事業
1 確かな学力を育成する	1 町田市学力向上推進プランの策定及び推進 2 えいごのまちだ推進事業 3 ICTを活用した教育の推進 4 放課後学習の充実 5 科学教育の推進
2 豊かな心を育成する	1 いじめ防止対策の推進 2 キャリア教育の推進 3 「うたひびくまちだ」の推進
3 生涯を通じて健やかに過ごせる体を育成する	1 体力向上推進プランの改定及び推進 2 楽しく運動する機会の充実 3 食育の推進

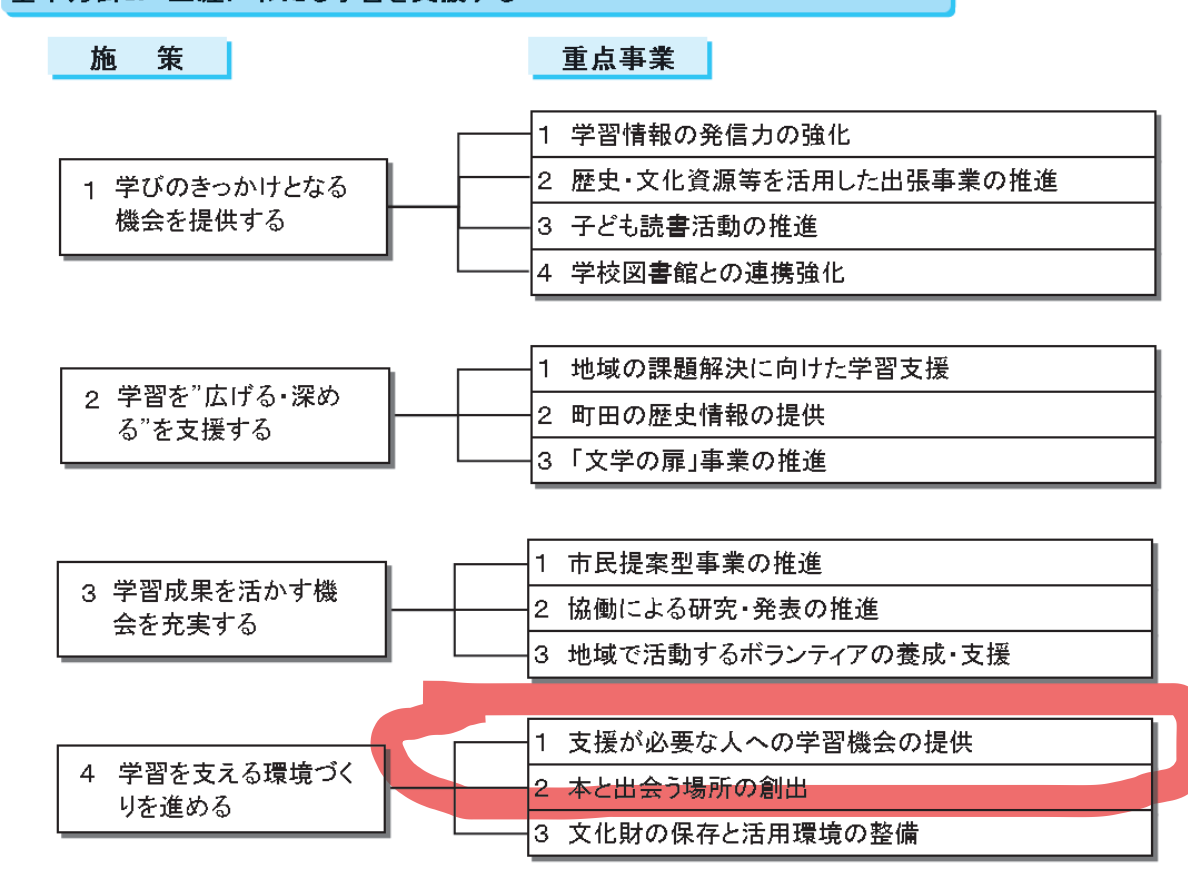
### 基本方針Ⅱ 充実した教育環境を整備する

施策	重点事業
1 質の高い学習環境を整備する	1 教室におけるICT環境の整備 2 体育館空調設置の実施 3 学校図書館の機能強化 4 教育センターの機能拡充
2 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育を推進する	1 特別な支援を必要とする子どもに対する支援の充実 2 特別支援教室の整備 3 特別支援学級の整備
3 不登校対策を強化する	1 不登校初期支援の推進 2 適応指導教室の拡充
4 学校のマネジメント力を向上する	1 学校のマネジメント力の強化 2 学校を支える人員体制の構築 3 ICT等を活用した校務改善の推進
5 将来を見据えた学習環境をつくる	1 小・中学校の適正規模・適正配置の推進 2 学校施設の個別施設計画の策定

## 基本方針Ⅲ 家庭・地域の教育力を高める



## 基本方針Ⅳ 生涯にわたる学習を支援する

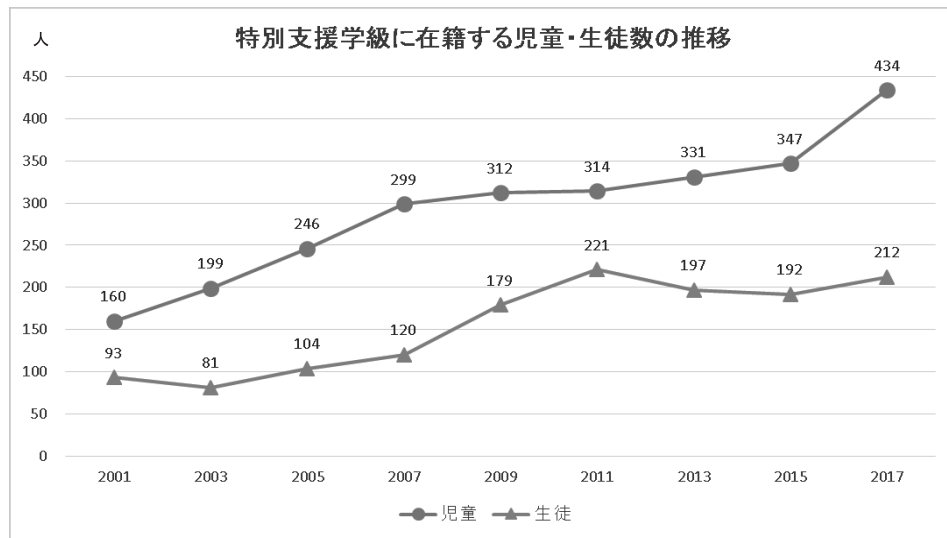


## 施策2 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育を推進する

### 〈現状と課題〉

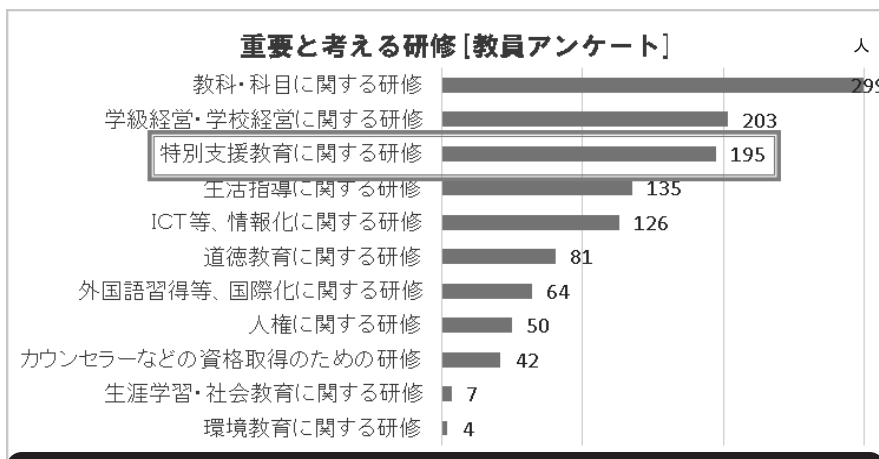
- ・通常の学級に在籍する特別な支援を必要としている児童・生徒や特別支援学級\*に在籍する児童・生徒が増加しています。
- ・社会の特別支援教育に対する理解や障がい者の就業が進んでいます。
- ・障がいのある子どもに係る課題が多様化している現状を踏まえ、一人ひとりのニーズに対応した支援や身近な地域で一貫した支援が受けられる体制を整備することが必要です。

#### 【関連データ】



特別支援学級に在籍する児童・生徒は増加しており、特に小学校は2001年と比較して、170%の増加となっている。

〈出典〉町田市教育委員会調べ



特別支援教育に関する研修の重要度が高い。

〈出典〉町田市学校教育に関するアンケート調査報告書(2017実施)

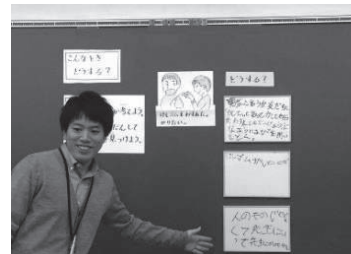
\* 特別支援学級：特別支援学級は、小・中学校に障がい種別ごとに置かれる少人数の学級（8人を上限）であり、町田市には知的障がい、肢体不自由、自閉症・情緒障がいの学級がある。

## 〈施策の方向性〉

### ○一人ひとりの状況に応じた特別支援教育を実施します。

- ・特別支援教室等の充実により、児童・生徒の良さを伸ばし、苦手なことや困難を軽減したり、社会的なスキルを身に付けたりすることを目的に、一人ひとりのニーズに応じた指導を行います。
- ・教員の特別支援に関する研修の充実や通常の学級における特別な支援を必要とする児童・生徒に対するサポートの充実に取り組みます。

○特別支援教室「サポートルーム」における授業の様子



### 特別支援教室「サポートルーム」って何？

児童・生徒は学級集団の中で社会生活に必要な様々な力を身に付けます。しかし、大切な情報をキャッチしたり、注意集中や衝動性をコントロールしたりすることなどがうまくできないと、大きな集団の中では、必要な力を身に付けることだけでなく、安定した気持ちで生活することも困難になります。そして、学習や活動場面でつまずいたことが解決されないまま積み重なると、自己肯定感が下がっていくことにもつながります。

在籍学級よりずっと小さい集団や個別指導において、一人ひとりの特性に合わせた学習方法と教材を用いて、児童・生徒の課題を解決し、良い面を伸ばしていくところがサポートルームです。

サポートルームでは、一人ひとりの状況に応じ、個別指導のみ週2時間、または個別指導と小集団指導の週1時間ずつの組み合わせによる学習を行います。

個別指導では、一人ひとりのつまづきに応じた学習に取り組みます。文章の内容を理解するのが苦手な児童・生徒には読み取りの課題、目の動かし方に課題のある児童・生徒には、たくさんある中から特定の数字を探す訓練を行ったりします。

小集団指導では、対人関係や集団行動を上手に営むためのソーシャルスキルトレーニングやコミュニケーションの学習を行います。

～サポートルームでは、このようなことで困っている児童・生徒を支援します～

- 黒板を写すことや、漢字・平仮名を書くことが苦手
- 四則計算ができない、あるいはとても時間がかかる
- 整理・整頓が苦手(忘れ物やなくし物が多い)
- 結果を考えたり、予測したりせずに行動する
- 道具をうまく使えなかったり、不器用さが見られたりする
- 内容を分かりやすく話すことが難しい
- 手足を動かすなど、じっとしていられない(よい姿勢を維持できない)
- 一つの課題に集中できず、最後まで終わらせることができない
- 友達と仲良くしたい気持ちがあるけれど、友達関係をうまく築けない
- 話す必要があるときでも話せない

### ○特別な支援を必要とする子どもに対して、早期からの一貫した支援体制を構築します。

- ・特別な支援を必要とする子どもに対して、保育園・幼稚園から小学校への入学等、ライフステージが変化しても、途切れることなく必要な支援が受けられる体制を構築します。
- ・教員や児童・生徒、保護者の特別支援教育に対する理解を深める取組を行うとともに、特別支援学校との連携強化により、将来の就業を意識した支援を行います。



## 切れ目ない支援ってどういうこと？なぜ必要なの？

保育園・幼稚園等から小学校への入学や、小学校から中学校または中学校から高等学校への進学など、ライフステージの変化は、子どもにとって人生の大きな節目となります。こうした節目の時期を安心して迎えるためには、ステージが変わっても途切れることなく、必要な支援が受けられることが重要です。

こうしたことから、2016年に改正された発達障害者支援法の中には、ライフステージを通じた切れ目のない支援を行うことが規定されました。2017年の厚生労働省による障害福祉計画及び障害児福祉計画の基本指針の中でも、福祉サービスと医療、保健、福祉、教育、労働、司法、警察など関連機関との連携を推進し、切れ目のない支援を図ることが盛り込まれています。

町田市では、就学前から支援を受けている児童の情報を就学時に保育園・幼稚園等から学校に引き継ぐ「就学支援シート」や、中学校に進学する際の「進学支援シート」を活用し、切れ目のない支援を行っています。

今後は、町田市子ども発達支援計画に規定された「(仮)療育記録ノート」等も活用しつつこの切れ目のない支援を充実させ、さらには中学校から高等学校への進学に際し「学校生活支援シート(個別の教育支援計画)」の引継を行うことで、進路先への適切な支援が継続されるようにしていくことが必要です。

	幼稚園・保育園から	小学校から	中学校から	高等学校から
好きなこと	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 歌える <input type="checkbox"/> 片づけ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 大きな運動	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 歌える <input type="checkbox"/> 片づけ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 大きな運動	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 歌える <input type="checkbox"/> 片づけ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 大きな運動	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 歌える <input type="checkbox"/> 片づけ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 大きな運動
得意なこと	<input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 人との関わり <input type="checkbox"/> 大集団活動 <input type="checkbox"/> 小集団活動	<input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 人との関わり <input type="checkbox"/> 大集団活動 <input type="checkbox"/> 小集団活動	<input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 人との関わり <input type="checkbox"/> 大集団活動 <input type="checkbox"/> 小集団活動	<input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 人との関わり <input type="checkbox"/> 大集団活動 <input type="checkbox"/> 小集団活動
嫌いなこと	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 歌える <input type="checkbox"/> 片づけ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 大きな運動	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 歌える <input type="checkbox"/> 片づけ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 大きな運動	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 歌える <input type="checkbox"/> 片づけ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 大きな運動	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 歌える <input type="checkbox"/> 片づけ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 大きな運動
苦手なこと	<input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 人との関わり <input type="checkbox"/> 大集団活動 <input type="checkbox"/> 小集団活動	<input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 人との関わり <input type="checkbox"/> 大集団活動 <input type="checkbox"/> 小集団活動	<input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 人との関わり <input type="checkbox"/> 大集団活動 <input type="checkbox"/> 小集団活動	<input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 人との関わり <input type="checkbox"/> 大集団活動 <input type="checkbox"/> 小集団活動

町田市教育センター

○就学支援シート

### 目指す姿(成果指標)

成果指標	現状値(2017年度)	目標値(2023年度)
特別支援教育に関する個別の教育支援計画(※1)の作成率〔特別支援教育体制整備状況調査〕	小 72.4% 中 71.5%	小 90% 中 90%
町田市が実施する特別支援教育担当教員(※2)を対象とした障がい種別ごとの研修の受講率	障がい種別ごとの 研修未実施	100% (2020年度以降毎年度)

※1 個別の教育支援計画とは、障がいのある児童・生徒の一人ひとりのニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していく考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な支援を行うことを目的として策定される計画のこと。

※2 特別支援教育担当教員には、特別支援学級教員と通級指導担当教員が含まれる。町田市では、特別支援教育担当教員のうち経験年数3年未満の教員を対象に障がい種別ごとの研修を実施する。

### 〈重点事業〉

- II-2-1 特別な支援を必要とする子どもに対する支援の充実
- II-2-2 特別支援教室の整備
- II-2-3 特別支援学級の整備



■重点事業Ⅱ-2-1 特別な支援を必要とする子どもに対する支援の充実 教育センター

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の学級や特別支援学級における特別な支援が必要な児童・生徒の支援を行うため、特別支援教育支援員*を小・中学校全校に配置します。</li> <li>・全ての教員の特別支援教育に対する知識・指導力の向上、教育環境の整備、継続した支援体制の確立等を図るため、特別支援教育プログラム*を策定し、小・中学校全体で推進します。</li> <li>・特別支援教育担当教員の専門性を高めるため、障がい種別ごとの研修を実施します。</li> </ul>				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員を小学校35校、中学校20校に配置</li> <li>・教員に対する特別支援教育に係る研修を実施</li> </ul>				
活動指標	指標	現状値（2017年度）		目標値（2023年度）	
	特別支援教育支援員配置校数	小35校 中20校		小 全42校 中 全20校	
	特別支援教育プログラムの策定	町田市特別支援教育推進計画の策定（2015年度）		策定 （2019年度・2023年度）	
	特別支援教育担当教員を対象とした障がい種別ごとの研修の実施	未実施		実施（2020年度から）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	特別支援教育支援員の全校配置				
	特別支援教育プログラムの策定				特別支援教育プログラムの策定
	特別支援教育担当教員を対象とした障がい種別ごとの研修の実施				

■重点事業Ⅱ-2-2 特別支援教室の整備 教育センター

事業概要	通常の学級に在籍している情緒障がい等の生徒に対する指導内容の充実を図るため、巡回型の通級指導学級である特別支援教室を中学校全校に設置します。				
これまでの取組	小学校全校に巡回型の通級指導学級である特別支援教室を設置				
活動指標	指標	現状値（2017年度）		目標値（2023年度）	
	中学校全校への特別支援教室の設置	未設置		全20校 （2021年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	4校設置	7校設置 〔累計11校〕	9校設置 〔累計20校〕		

\* 特別支援教育支援員：特別支援教室を整備した学校に配置し、学級担任教諭の補助者として、特別な支援が必要な児童・生徒の介助、安全への配慮を行い、学校生活を支援する。  
 \* 特別支援教育プログラム：町田市特別支援教育推進計画（2015年度～2019年度）の計画期間終了にあたり、新たな計画として教員の知識・指導力の向上等の内容も盛り込んだアクションプランとして作成する第2期町田市特別支援教育推進計画（2020年度～2023年度）のこと。

事業概要	地域の状況や対象となる児童・生徒数の状況を踏まえて、特別支援学級（自閉症・情緒障がい学級又は知的障がい学級）を整備します。				
これまでの取組	小学校延べ25校、中学校延べ11校に特別支援学級（知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由）を設置（2017年5月1日現在）				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	特別支援学級の設置延べ校数		36校	39校（2022年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">特別支援学級整備計画策定</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">1校に設置</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">1校に設置</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">1校に設置</div>	

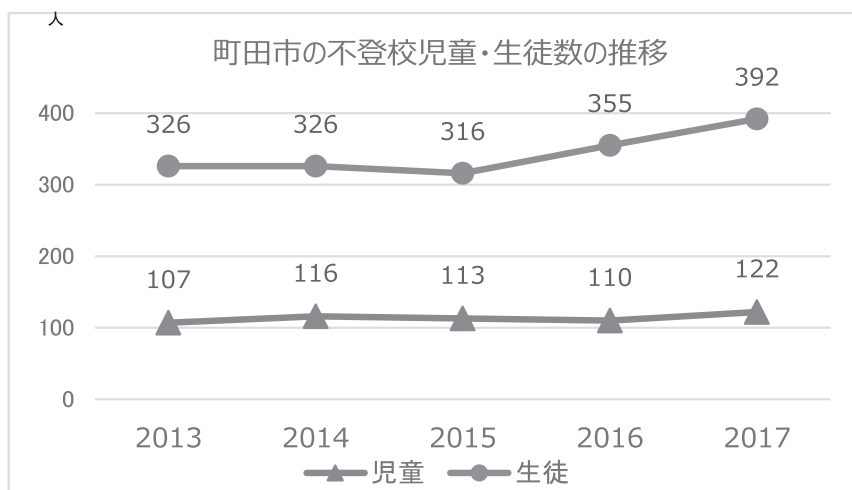


### 施策3 不登校対策を強化する

#### 〈現状と課題〉

- ・不登校児童・生徒数は増加しており、抜本的な不登校対策が必要です。
- ・子育てや福祉の分野等との連携が必要とされるような課題を抱えた家庭が増えています。

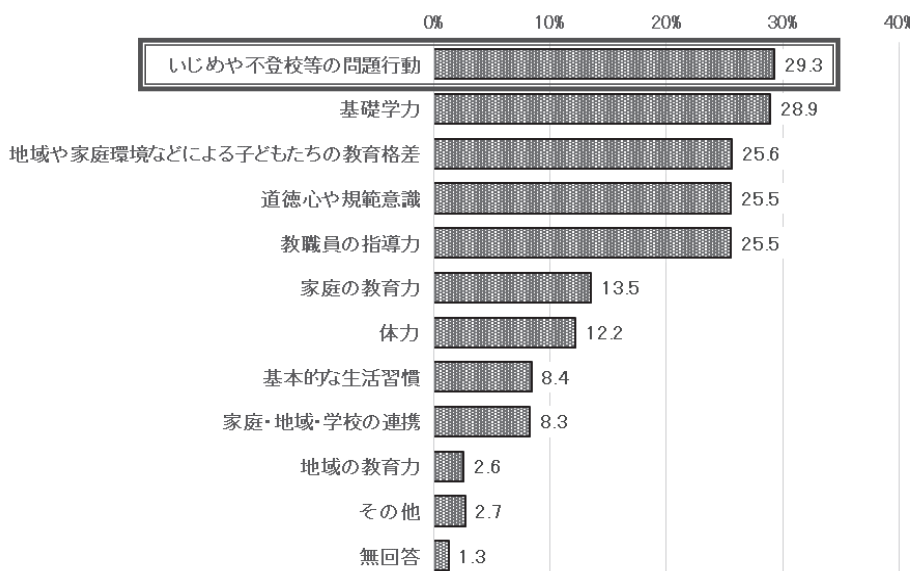
#### 【関連データ】



小学校・中学校ともに増加している。

〈出典〉町田市教育委員会調べ

#### 子どもたちの教育や環境について課題と感じていること〔保護者アンケート〕



保護者は、「いじめや不登校等の問題行動」について課題であると感じている。

〈出典〉町田市学校教育に関するアンケート調査報告書(2017実施)

## 〈施策の方向性〉

### ○抜本的な不登校対策に取り組みます。

・不登校の予兆への対応を含め、初期段階から組織的に不登校児童・生徒への支援を実施します。

### ○多様なネットワークによる支援に取り組みます。

・多様な課題を抱えた子どもに対するきめ細やかな支援を行うため、専門職による支援や学校や行政機関、NPO等とのネットワーク構築に取り組みます。

## 目指す姿(成果指標)

成果指標	現状値(2017年度)	目標値(2023年度)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒数〔児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査〕	小 24人 中 45人	小 60人 中 110人
指導中の児童・生徒のうち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童・生徒数〔児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査〕	小 12人 中 69人	小 50人 中 140人

## 〈重点事業〉

- II-3-1 不登校初期支援の推進
- II-3-2 適応指導教室の拡充

■重点事業Ⅱ-3-1 不登校初期支援の推進 教育センター・指導課

事業概要	心理・福祉等多様な専門知識をもつ専門スタッフによる不登校初期支援チームを創設し、初期段階からアウトリーチによる不登校支援*を実施します。				
これまでの取組	全校へのスクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの3名配置等による相談体制や関係機関との連携体制の強化				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	不登校初期支援チームの創設		未設置	2021年4月設置	
	アウトリーチによる支援人数		未実施	65人/年	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	体制・仕組みづくり		アウトリーチによる支援		
		初期支援チームの創設			

■重点事業Ⅱ-3-2 適応指導教室の拡充 教育センター

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童・生徒の学校復帰に向けた支援体制を充実させるため、教育センターに設置されている適応指導教室の拡充を行います。</li> <li>拡充にあたっては、児童・生徒の状況に合わせた個別指導・小集団指導が行える体制を整備します。</li> </ul>				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>2003年度から小学校適応指導教室を設置</li> <li>2013年度から中学校適応指導教室を設置</li> </ul>				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	不登校児童のうち小学校適応指導教室に登録している児童の割合		11%	30%	
	不登校生徒のうち中学校適応指導教室に登録している生徒の割合		3%	30%	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	拡充方針検討	拡充準備	個別指導の拡充		
			小集団指導の実施		

\* アウトリーチによる不登校支援：不登校初期支援チームが、家庭訪問等、学校から外部に積極的に働きかけて行う支援のこと。

## 施策4 学習を支える環境づくりを進める

### 〈現状と課題〉

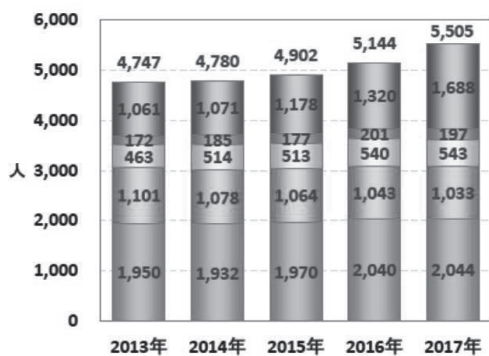
・様々な事情を抱え、公的な支援がなければ自由に学ぶことができない状況の人がいます。そのため、学びに対する支援を必要とする人のニーズを把握するとともに、学べる環境を整備する必要があります。

・学習講座の開催や本に親しむ環境づくりなどの取組は、行政だけではなく、市民団体などにも広がりを見せています。そのため、より効果的に学習事業を展開できるよう、これらの団体との連携・協力による取組をこれまで以上に充実していく必要があります。

・地域の歴史や文化は、その地域への誇りや愛着を生むきっかけとなるものであるため、その資源をしっかりと整備・保存・調査・研究等をし、広く市民に親しんでもらえる環境を整備する必要があります。

#### 【関連データ】

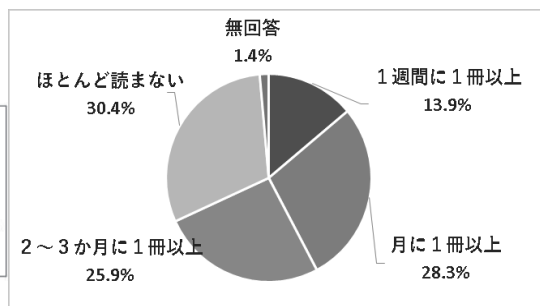
##### ○町田市の外国人登録人口



外国人の住民登録者数は年々増加している。

<出典>町田市データブック2017

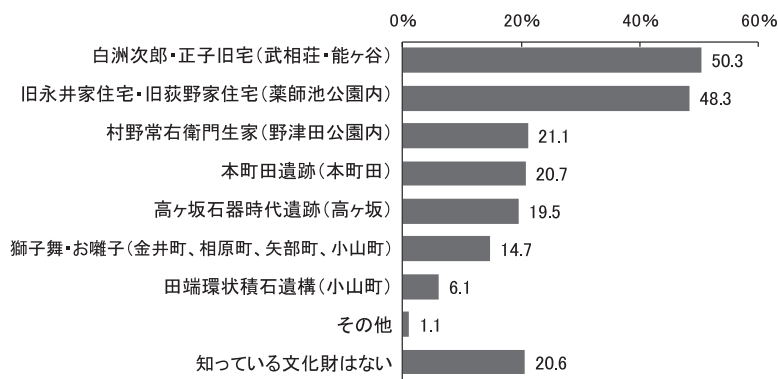
##### ○本を読む頻度



3割の人は本をほとんど読まない。

<出典>町田市生涯学習に関する市民意識調査(2017実施)

##### ○文化財の認知度



市内の文化財の認知度は一部をのぞき高くない。

<出典>町田市生涯学習に関する市民意識調査(2017実施)

## 〈施策の方向性〉

### ○支援を必要とする人への学習支援を行います。

- ・誰もが学べる環境を整備するため、社会的困難を抱えた人や在住外国人など、学びに対する支援を必要とする人への学習機会を充実します。
- ・文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人への支援を行います。

○多文化共生\*の推進に向け国際交流センターとの共催で開催した「外国の音楽と踊りとお話と」



### ○関係機関とのネットワークづくりを進めます。

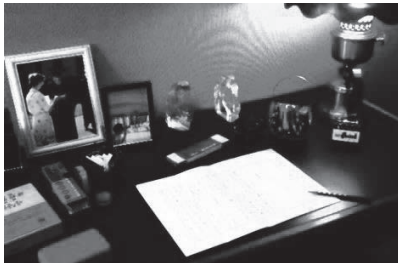
- ・学習事業を展開する関係機関との連携・協働による取組を展開していくための仕組みづくりを進めます。

○近隣の大学に通う学生との意見交換の様子  
(市役所内各部署のイベント、講座等の担当職員が参加する生涯学習連絡会にて実施)



### ○文化資源の維持管理・調査・研究を進めます。

- ・遺跡や古民家、文学資料などの文化資源を良好な状態で後世に伝えられるよう、適正な維持管理を行います。
- ・市民はもとより、市外の多くの人に町田市の歴史や文化に関心をもってもらえるよう、貴重な文化資源の収集や、調査・研究を進めます。



○故遠藤周作氏の愛用品（文学館で収蔵）



○高ヶ坂石器時代遺跡\*（牢場遺跡）敷石住居跡

### 目指す姿(成果指標)

成果指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
本を読む市民の割合 〔町田市生涯学習に関する市民意識調査〕	68%	73%
町田市内にある文化財の中で知っているものがある市民の割合 〔町田市生涯学習に関する市民意識調査〕	78%	83%

## 〈重点事業〉

- IV-4-1 支援が必要な人への学習機会の提供
- IV-4-2 本と出会う場所の創出
- IV-4-3 文化財の保存と活用環境の整備

\* 多文化共生：国籍や民族などが異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、ともに生きていくこと。  
\* 高ヶ坂石器時代遺跡：牢場・稲荷山・八幡平遺跡の3地点からなる縄文時代の集落跡。国内で初めて敷石住居跡（牢場遺跡）が発見され、大正15年に国の史跡に指定された。

■重点事業Ⅳ-4-1 支援が必要な人への学習機会の提供		生涯学習センター			
事業概要	外国人居住者、障がい者、ひきこもり当事者など文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人の学習機会を保障するため、学習に関するニーズ調査を行い、関係機関と連携して学習機会を提供します。				
これまでの取組	障がい者を対象とした「障がい者青年学級」、ひきこもり当事者を対象とした居場所事業などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	多文化共生に関する学習事業数		1事業	3事業	
	社会的困難を抱えた人への学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各種学習事業の実施 関係機関への働きかけ				
	参加者アンケート等によるニーズ調査・ 事業内容への反映			市民意識 調査での ニーズ把握	新たな事 業の実施

■重点事業Ⅳ-4-2 本と出会う場所の創出		図書館			
事業概要	町田市内には大学図書館や地域文庫、まちライブラリー*など本にふれることができる施設が各地域にあります。こうした施設と図書館が連携して読書活動を推進する取組を進めるとともに、これらの施設の情報を集約した読書マップを作成します。				
これまでの取組	市民が利用可能な大学図書館やおはなし会を実施している団体の情報を収集し、図書館ホームページに掲載しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	読書活動推進にかかる連携施設数		20か所	25か所	
	読書マップの作成		未作成	作成・公開 (2020年度)	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	図書の貸出・閲覧やおはなし会がある市民利用施設との連携推進				
	本にふれる ことができる 施設の把握	マップの 作成・公開		マップの 更新	

\*まちライブラリー：メッセージを付けた本を持ち寄り、カフェや病院、オフィスなど、まちの様々な場所に本棚や小さな図書館をつくり、本をきっかけに人とのつながりをもつ活動のこと。全国で620カ所を超えるといわれている（2018年8月末現在）。町田市内にも、保育園や高齢者施設の中に開設されている。